

平成29年第9回教育委員会定例会

新 十 津 川 町 教 育 委 員 会 会 議 録

平成29年9月20日 開会

平成29年9月20日 閉会

新 十 津 川 町 教 育 委 員 会

平成29年第9回教育委員会定例会

平成29年9月20日（水）
午前9時00分 開会

○ 議事日程

- 1 開会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 行事報告
- 4 報告事項
報告第39号 平成29年度町内小中学校在籍児童生徒数（9月分）について
報告第40号 平成29年度新十津川町一般会計補正予算（第5号）教育予算について
報告第41号 平成29年度全国学力・学習状況調査結果について
- 5 その他
- 6 閉会

○ 出席者（5名）

久保田 純 史
熊 澤 定 男
新 田 右 子
荒 山 直 人
近 藤 陽 介

○ 欠席者（0名）

○ 職務のため出席した者の氏名

事務局長	中 畑	晃
主 幹	内 田	充
学校教育グループ長	坂 下	佳 則

○ 開会及び開議の宣告

◎久保田教育長

ただいまより、平成29年第9回教育委員会定例会を開会いたします。

○ 議事日程の報告

◎久保田教育長

本日の日程は、お手元に配布しております議事日程により順を追って進めて参ります。

○ 会議録署名委員の指名

◎久保田教育長

日程第2、会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員の指名につきましては、熊澤、近藤両委員を指名しますのでよろしく願いいたします。

○ 諸般の報告

◎久保田教育長

続きまして、日程第3に入る前に私の方から報告申し上げます。9月12日に行われました平成29年第3回町議会定例会におきまして、新十津川町教育委員の任命同意についてという人事案件が町長より議会に上程されました。この件につきましては、熊澤定男教育委員会職務代理が、平成9年10月1日から5期20年にわたり本町の教育の振興、発展のためにご尽力いただき、9月30日で任期満了になるということでございまして、熊澤委員には引き続き教育委員にご依頼申し上げたところでございしますが、熊澤委員の意向といたしまして後進に道を譲りたいというご意志が固いことから後任の教育委員の人事案件を町長から議会に提案されました。熊澤委員におかれましては、20年にわたり本当に大変お世話になりました。中でも本町の小学校史に残る取組み、歴史に残る事業といたしまして、平成21年に小学校4校、町内にあった小学校が閉校となり新生の新十津川小学校、町内に1校の小学校になるという大事業にあたりまして、教育委員長として大変お世話になったことにつきましても感謝を申し上げます。なお、後任につきましては、新十津川町字花月1017番地の松倉寿人さん、年齢は57歳でございます。後任ということで議会の満場一致の同意をいただいたところでございます。松倉さんにおかれましては、皆さんご承知のとおり過去には花月小学校のPTA会長をはじめ学校関係の公職も歴任されておりますし、行政部門におかれましては、農業委員、そして農業員会会長として本町の農業の振興にご尽力いただいた方でございまして、温厚、誠実な人格識見に優れた方ということで10月からお世話になることになってございます。本当に熊澤委員さんお世話になりました。ありがとうございます。以上、人事についての報告に代えさせていただきます。続きまして、日程第3、行事報告を議題といたします。事務局より報告願います。

◎中畑事務局長

それでは、行事報告につきましては、主幹の内田より報告申し上げます。

◎内田主幹

それでは、平成29年8月31日から本日9月20日までの行事をまとめておりますので、資料の方ご覧いただきたいと思います。最初に9月1日、小学生芸術鑑賞事業。今年の

小学校鑑賞事業は妖怪影絵劇ゲゲゲの鬼太郎の公演を行っております。今年も雨竜町教育委員会との共同事業で行われ、新十津川町小学校児童315人、雨竜町児童95人がそれぞれ鑑賞をいたしました。9月2日、第62回北海道吹奏楽コンクール。新十津川中学校吹奏楽部が札幌コンサートホールKitaraにおいて開催されました第62回北海道吹奏楽コンクールに出場し、A編成の部で見事2年連続で銀賞を受賞いたしました。9月4日、獅子神楽町内巡回。獅子神楽保存会会員25人、新十津川中学生4人によりまして獅子舞を披露いたしました。また、新十津川小学校の特別クラブ児童15人も、大和方面、新十津川神社などで獅子を舞いました。9月5日、浅利五郎氏高齢者叙勲伝達式ですが、元吉野小学校校長浅利五郎氏が長年の教育への功労として瑞宝双光章が熊田町長から伝達授与されました。9月7日、音楽協会主催のトリアングロコンサートがゆめりあで開催され、バイオリン、バンドネオン、ギターの珍しい編成で古典タンゴ、映画音楽などを演奏し、美しい音色で218人の観衆を魅了いたしました。9月8日、札幌市かでの2・7で北海道青少年育成大会全道大会が開催され、本町の伝統芸能獅子神楽保存会の高桑政章氏が青少年健全育成功労者として北海道社会貢献賞を受賞し役場を訪れ熊田町長に受賞の報告をいたしました。全道から14人の方が表彰されております。9月13日、9月16日から札幌市で開催された第24回全道少年軟式野球大会に出場する、新十津川中央野球少年団ホワイトベアーズ東勝美代表と選手12名が役場を訪れ、浅野壮音主将が熊田町長に全道大会での抱負を述べました。なお、全道大会ですが、1回戦で優勝しましたチームに1点差でサヨナラ負けということで惜敗をしております。9月13日から14日まで十津川中学校3年生23人、引率6人が修学旅行で本町を訪れました。13日は、旭山動物園などを見学後、本町に入り、役場訪問、除雪センター、ライスボックス、物産館を見学、図書館では調べ物学習をいたしました。翌14日は、菊水公園、開拓記念館などを見学したあと、新十津川中学校3年生との交流を行い、昼食にジンギスカンを堪能し、本町を出発いたしました。15日に無事十津川村へ帰村いたしました。9月19日、平成29年産ゆめぴりか贈呈式ですが、教育長室におきまして、JAピンネゆめぴりか生産組合を代表いたしまして吉原組合長から久保田教育長に給食用新米ゆめぴりか120キロの目録及びサンプル米が手渡されました。今年で5回目となります。なお、この様子は本日のNHKの朝のニュースで放送されました。次に記載にはないんですが部活動の状況につきましてご報告いたします。8月20日滝川市で開催されました北海道卓球選手権滝川予選会において新十津川中学校卓球部男子2人、女子6人が一般、ジュニアのそれぞれの部に出場し予選を通過、10月7日から9日まで釧路市で開催される全道大会の出場権を得ました。以上、行事報告とさせていただきます。

◎久保田教育長

行事報告の説明が終わりました。質疑はございませんか。

(「なし」という声あり)

◎久保田教育長

それでは、ないということですので、行事報告を報告済みといたします。続きまして、日程第4、報告事項を議題といたします。報告第39号、平成29年度町内小中学校在籍児童生徒数(9月分)について事務局より説明願います。

◎中畑事務局長

それでは、議案書の3ページをお開きください。表をご覧ください。まず小学校ですが、1年生に異動があり女子1名が転入してございます。よって1年生女子は30人となり、小学1年生の男女合わせた在籍数は52人となっております。また、4年生でも異動があり男子1名が転入しております。よって4年生男子は25人となり、小学4年生の男女合わせた在籍数は44人となっております。従いまして小学校全体では2名増の317人となっております。中学校では異動がございましたので前月と同数の172人となっております。総合計といたしまして、今月は2名増加し489人の在籍となっております。なお、特別支援学級については両方とも異動はございませんでした。以上、報告第39号の説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

◎久保田教育長

報告39号平成29年度町内小中学校在籍児童生徒数（9月分）についての説明が終わりました。質疑はございませんか。

（「なし」という声あり）

◎久保田教育長

それでは、なしということでございますので、以上をもちまして、報告39号平成29年度町内小中学校在籍児童生徒数（9月分）についてを報告済みといたします。続きまして、報告第40号平成29年度新十津川町一般会計補正予算（第5号）教育予算について事務局より説明願います。

◎中畑事務局長

それではご説明いたします。内容、別紙のとおりといたしまして、6ページをお開きください。始めに10款5項1目保健体育総務費、既定予算10,633,000円、補正額1,715,000円、計12,348,000円でございます。補正額の財源内訳は、全て一般財源でございます。この事業の内容についてご説明いたします。事業番号10番といたしまして地域おこし協力隊活動事業（スポーツ振興）を新たに新設し、1,715,000円を措置いたしております。具体的内容といたしましては、本年度から体育協会でスポーツクラブを本格稼働させ事業を展開していたところでございますが、順調に推移をいたしてございまして、今後においても事業数と利用者の増加が相当数見込まれるという状況でございます。このことから国が進めています地域おこし協力隊の制度を活用いたしまして運営体制の強化を図りたいとするものでございます。指導経験が豊富でかつスポーツクラブの運営について能力を有する人材を1名確保する予算といたしまして、11月から3月までの報酬と所要の経費を計上させていただいております。なお、この補正額につきましては交付税措置がなされる見込みとなっております。次に10款5項2目の体育施設管理費についてご説明いたします。既定額74,404,000円、補正額は1,189,000円、計で75,593,000円でございます。補正額の財源内訳は、一般財源でございます。続いて事業内容を説明いたします。事業番号2番そっち岳スキー場管理運営事業に対し1,189,000円を増額するものでございます。具体的内容といたしましては、スキー場圧雪車の故障に要する費用でございまして、エンジンの冷却水漏れが今年3月のシーズンオフ間に発覚していたわけでございますが、時期的に本年度の当初予算に盛り込むことができませんでしたので、今回の補正予算案で計上させていただいたものでございます。修理作業につきましては、今シーズンの開始前の点検整備と合わせて実施する予定といたしてしております。

次に最後になりますが、10款5項3目学校給食運営費についてご説明いたします。既定額134,672,000円、補正額は0円でございます。計、同額の134,672,000円でございますが、この補正は財源内訳の組み換えによる財源更正のみとなっております。内容といたしましては、8月に事業が完了した食器洗浄機の更新、これに要する費用に対しまして一般財源で措置していた23,700,000円を地方債である学校給食センター整備事業債に組みかえることにより町の財政負担を有利に進めるというものでございます。以上、報告第40号の説明とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

◎久保田教育長

報告第40号平成29年度新十津川町一般会計補正予算（第5号）教育予算についての説明が終わりました。質疑はございませんか。

◎熊澤委員

この地域おこし協力隊の人材派遣ですか、スポーツ振興にということで、我々吹き矢に取り組んでいる者にとっては直接運営にあたってくれるわけでしょう、この人たちがね。

◎中畑事務局長

体育協会の方にスポーツクラブということでお願いしておりまして、前谷事務局長、担当するスタッフ、臨時スタッフ1人で現在取り組んでいるところでございますけれども、指導する技能を有していないという中で運営している状況でございます。そこで大変りピーターが増えたりいろいろな種目を取り入れる中で、やはり即座にある程度の指導をできる方がいると運営がしやすくなる、更に内容的にもやっていけるだろうというところで、資格を有する方でなおかつそのスポーツクラブの運営に携わる能力を有する方を募集をかけているところでございます。そういった方に実際事業の中でも、例えば直接スポーツ吹き矢には精通していなくても体力づくりのための指導ですとかそういった分野でご活躍いただけるのではないかと考えているところです。

◎熊澤委員

心強い限りだなと思います。そこで聞きたいのは、実はいつのまにかいろいろな吹き矢に対する道具が揃っているんですね。それは直接教育予算の中から出るものなのか、それともスポーツセンターから、あるいは体育協会からなのかどうということなのかちょっと教えてほしいなと思って。

◎中畑事務局長

それではお答えいたします。スポーツクラブの運営につきましては、町の予算で体育協会の方に運営のための委託料として主要の経費を見込んで体育協会の方に経費をお支払いいたしております。その経費を原資といたしまして参加者から負担金をもらいながら運営に体育協会があたっているという状況でございます。そのやりくりの中で必要な道具についても用意をしていただいているということでございます。最終的には委託業務なものですから、精算の中で委託に、利用に見合った事業が行われているかどうかについて私どもその監視をしながら指導にあたっているというやり方をいたしております。以上です。

◎熊澤委員

分かりました。

◎久保田教育長

ほかに質問、質疑ございませんか。

(「なし」という声あり)

◎久保田教育長

よろしいですか。はい。それでは、以上をもちまして、報告40号平成29年度新十津川町一般会計補正予算(第5号)教育予算についてを報告済みといたします。続きまして、報告第41号平成29年度全国学力・学習状況調査結果について事務局より説明願います。

◎中畑事務局長

議案書の9ページをお開き願います。内容、別紙のとおりといたしまして、10ページをご覧ください。8月28日に公表されましたこの調査結果の概要について申し上げます。1調査の目的でございますが、1つ目として義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握、分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。2つ目として、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。3つ目、以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するとしているものでございます。2調査の対象は、小学校第6学年及び中学校第3学年でございます。3調査の内容ですが、教科に関する調査と質問紙調査の2つの調査が行われております。(1)といたしまして、教科に関する調査、国語、算数、数学ではアといたしまして主として知識に関する問題が国語A、算数、数学のA、イとしまして主として活用に関する問題が国語B、算数、数学Bとなっております。(2)の質問紙調査でございますが、これは児童生徒の学習や生活の実態に関する調査で、小学生は92項目、中学生は部活動に対する項目が2つ加わりまして94項目の設問で行われております。調査の方式は悉皆調査ということでございまして、全児童生徒が対象となっております。5調査期日、これは、平成29年4月18日に実施いたしましたしております。6参加状況、新十津川小学校においては54人、これは全員でございます。新十津川中学校においては58人、5名が不参加となっております。7教科に関する調査の結果でございます。(1)正答率及び正答数について表をご覧ください。この表は平均正答率と平均正答数について小学校と中学校に分けて全道平均や全国平均と比べてどうであるか、どの分野が強くどの分野が弱いのかを表してございます。比較の欄で申し上げますけれども、下の比較の欄でございますが、全道又は全国の平均を上回ったものは◎が記されてございます。また、平均と同数の場合は一重の○で記されております。ご覧のとおり小学校では全ての科目で全道平均かそれ以上でございまして、かつ全国の平均を上回ったのが2つございます。一方中学校では全ての科目で昨年度に引き続き全国、全道の平均を下回っているという状況でございます。次に(2)の標準化得点について説明させていただきます。こちらは5年間、過去5年において各年度の全国平均正答数を100とした場合の新十津川の小中学校の得点がどうであるかということを示したものでございます。小学校では活用に関するテストである国語Bが前年度の数値を下回っておりますけれども、そのほかのテストにおいては前年度と同数かそれ以上となっている状況でございます。一方中学校でございますが、全てのテストにおいて前年度

を下回る傾向が平成27年から続いている状況でございましたが、本年度平成29年においては国語Bが前年度を下回ったもののそのほかのテストでは前年度と同等かそれ以上という状況でございます。次に11ページに入りたいと思います。(3)、横長の表でございます。こちらは全国平均正答率と比較しての表でございますけれども、平成22年からの8年間で折れ線グラフで示しております。上の表が小学校、下の表が中学校となっております。全国平均のプラスマイナス1を同様という表現でグレーの色で表してございまして、☆マークが新十津川町、●が空知、○が全道という表でございます。なお空知の状況については今年度分がまだ公表されておられませんので、平成29年度は●がついていないという形になっております。内容を見ますと、小学校では国語のBが年度によって出来、不出来の差が大変大きいという状況でございますけれども、総じていいますと、どの教科も右肩上がりの傾向にはあるのかなというふうに見て取れると思います。一方中学校でございますけれども、中学校においては横ばいか若干右肩下がりの傾向にあるふうに取り取れるわけですが、特にその国語Bの下がり方が顕著であるなというふうに取り取れるものでございます。このグラフの動きを見ながらまた今後学校側でもいろいろ工夫を重ねていける、いただけるのではないかとというふうに思います。次に12ページをご覧ください。(4)の分類別集計結果でございます。これは全教科のチャート図になってございまして、教科をより詳しく分析したものでございます。全国平均を100としまして、緑で表しております。本町は赤で北海道が青で示しております。赤い点が外側に広がっているところが得意な分野で、中心に近付いているところが苦手な分野であると理解していただければと思います。小学校については、国語Aの話すこと・聞くことが若干苦手かなというところで、算数Bの図形、これが極端に不得意であると思います。中学校においては極端に苦手な分野はないものの、国語Aの話すこと・聞くことが1番不得意な分野であるのかなと、またそのほかにおいても幅広くやや不得意な分野が存在する状況がこのグラフから伺えると思います。最後に、13ページからの表をご覧くださいと思います。(5)児童生徒質問紙の結果の経年変化の状況を表しております。これについては、主だった12項目を抽出してございます。それぞれの項目につきまして年度ごとの違い、それから小学校6年時と中学校3年時における意識の変化、例えば1番最初の家で復習に取り組む児童生徒で、小学校の平成26年の数値が20パーセントから25パーセントのところへ位置しているわけですが、この子たちが3年後、今年の中学3年生にあたるわけですがけれども、中学3年生になったときにどうなっているか見比べると15パーセント以下に、届かないぐらいになっているというところで、復習に取り組む時間が減っているのかなというところで読み取れることができます。年度ごとの違い、それから同じ人物、同じ集団が4年後にどう変化したのかなというところを見比べながらご覧になっていただければと思います。なお、この結果については、各学校で詳細な分析、考察を行ってまとめることとなっておりますことを申し添えます。以上、内容の説明とさせていただきます。よろしくお願いを申し上げます。

◎久保田教育長

報告第41号平成29年度全国学力・学習状況調査結果についての説明が終わりました。質疑はございませんか。

◎熊澤委員

12ページの上のグラフですけれども、話すこと・聞くことと算数Bの図形が低いですよ。これって何か地域的なものがありそうじゃないですか。新十津川、米だけのほと

んどそういうところでしかも学校が1つという。高校に入ったときを思い出したんですが、市部の子どもたちとてとにかく喋ることから上手ですね。そこ直接行くかどうかわかりませんが。図形的なこととかも何かわりと得意にやっていたので、どうもそういう普段の生活の中にこういうものがないというのも1つの原因かもしれない。

◎中畑事務局長

実はその算数B図形については設問が1問のみという中の結果でございます。全国的にはこうある程度出来ている、平均とれているな、平均の中で北海道が低い、更に新十津川はもっと低いということでございます。その設問の仕方が複雑だったということは聞いているところですけども、それにしても全国平均から比べてかなり低いという状況でございますので、今熊澤さんがおっしゃったその地域的なことがあるのか、あるとすればその弱点をどうするかについてはまた学校の方にご意見としてお伝えしたいと思っております。

◎久保田教育長

よろしいですか。

◎熊澤委員

はい。

◎久保田教育長

15ページの小学校の、読書、読書が好きというの、28年度と29年度を比較したら際立って下がっちゃっているんですね。

◎中畑事務局長

4月の時点での調査でございます。その後は読書通帳で魅力づくりもしておりますので、いい方向に改善できるのではないかと期待をしております。

◎久保田教育長

ほかに委員さん、よろしいですか。

◎新田委員

ちょうど中3、息子のいる代なんですけれども、小学校6年のときわりあい良かったんです。それがかなり下がっているの。あの学年はすごく仲が良くて情緒的にはすごく健康に育っていると思います。これは親としての意見ですけど、ちょっと勉強を自由にさせすぎたのかなと思います。ある程度強制というか、例えば学校で朝読書しましょうとか、ある程度強制される部分がないと子どもってどうしても楽な方にやっぱり流れていくと思うので、家でも言っても親の言うことはあまり聞かないので、先生の方からそういう時間とかを作ってもらえるような形にさせていただけると少しは勉強の習慣がつくのかなと。

◎久保田教育長

近藤委員、ございませんか。

◎近藤委員

はい。先ほど、教育長が言われたんですけれど、読書が好きというのが極端に下がっているところと、国語、小学校、中学校そうですけれど、チャート図にも何かちょっと反映されているような感じもしています。よく分析しているというか、これを見ればどういうところを力を入れて学習していったらいいかというのが分かるような気がしますし、あと勉強は何か毎日1時間以上勉強する児童、15ページにありますけれど、勉強はしているんだけど何かちょっと伴っていないのかなというようにところもあるのです、質の問題もあるのかなというようにところも感じています。

◎久保田教育長

荒山委員は。

◎荒山委員

これ小学校、中学校って学年的なものなのか全体的なものなのかその年代によってまたちょっと分からないですけれど、例えば13ページの家で学校の宿題をしていると、小学校では結構な率でやっているんだけど中学生になったらぐっと少なくなったり、3年生にだけこういう傾向が見られるのか全体的なものなのかちょっと分からないですけれど。

◎久保田教育長

事務局長、どうですか。

◎中畑事務局長

宿題に関しては私もじゃあどこでやっているのという疑問に思ったわけなんですけれど、この設問が家でということ限定していますので、図書館でやったときにはここに該当しないと思って付けていないのかなと、友達とどこかこう場所を見つけてやっている場合にはここには数値として入ってこないのかなというところでは感じております。宿題ですからやらないまま学校には行っていないと思いますけれども、この差が何であるかというところはなかなか私もちょっと読み取れない部分でございます。あともう1点、先ほど説明しなかったんですけれども、15ページなんですけど、上から2つ目、3時間以上テレビを見る児童生徒ということで、これは右肩下がりでこう減っている状況なんですけど、その下のゲームをする時間が、2時間以上ゲームをする児童が増えているというところでは、結局テレビからゲームに移っただけなのかなと読めるところでございます。ただ近藤委員おっしゃったとおり、1番下の1時間以上勉強する児童生徒については増えつつありますので、まあ時間の使い方が変化する中でも少しずつでも家庭学習に取り組む時間を増やしているというところは感じております。それから14ページ1番下、先ほど新田委員さんから情緒の関係がちょっと出ましたけれども、今の中学3年生は本当に家の人と学校での出来事について話す児童生徒が多いということで、小学校6年生の時はだんとう高いわけです。この学年は本当にそういった意味では家族とのコミュニケーションがしっかり取れている世代かなということと、この間十津川村中学校の修学旅行で来たときに3年生同士で交流したわけなんですけど、その様子を見ても今の中学3年生は本当に快活でこう反応のいい素晴らしい生徒さんが多いなというふうに感じております。学習面ではない部分で教育がされている年代だなというふうには感じております。

◎久保田教育長

それではひとり通り委員さんからご意見をいただきましたので、今後学校とですね、検討を重ねて進みたいと思います。よろしいですか。

(「なし」という声あり)

◎久保田教育長

それでは、以上をもちまして報告第41号平成29年度全国学力・学習状況調査結果についてを報告済みといたします。続きまして、日程第5、その他を議題といたします。事務局より説明願います。

◎中畑事務局長

それでは、次の定例会を予定どおり10月20日金曜日ということでご提案申し上げます。

◎久保田教育長

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

◎久保田教育長

お願いいたします。はい、以上でございます。事務局お願いします。

◎中畑事務局長

それでは、次に11月の開催日についてお諮りいたします。昨年は11月25日に開催をいたしております。よろしくをお願いいたします。

◎久保田教育長

今後のいろいろ委員さんの日程もあるかもしれないですけど、中学校の特設道徳が11月28日火曜日に午後から予定されておりますので、そののち定例教育委員会を開くということで一応予定として11月28日火曜日ということで案として定めさせていただきます。またご都合等悪くなりましたら次回の定例教育委員会のときに報告いただくということでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

◎久保田教育長

ではそういうことで、よろしくをお願いいたします。それでは事務局長、お願いします。

◎中畑事務局長

よろしくをお願いいたします。

◎久保田教育長

私からその他で2点あります。1点目でございます。9月7日に町議会定例会がござ

いまして、教育関係、2人の議員さんから質問が2点出されました。お一方は青田議員でございます、昨今全国的に、教職員の超過勤務の実態が社会問題となっているけれども本町はどのようになっているのかとの質問でございます。本町におきましては、町独自の实態調査はしておりませんので正確な数値は把握しておりませんが、適宜校長会等で、教職員の勤務状況について確認をし軽減するよう指導をしているところでございます。1年を通しますと年度始めの入学式とか年度終わりの卒業式時期等については、忙しいこともございますが、総じて申し上げますといろいろ月1回の定時退庁日を定めたり、管理職による声掛けの実践、あるいは部活動の月曜日をやらないように今年度から取り組むなど、全国的な事案に該当することはなく、過度な超勤もないということで答弁させていただきました。また更に教職員室の電気が夜遅くまで点いているのを確認しているのだけれどもということで、それについても早期退庁するよう指導していきたいということで答弁をさせていただいております。もう1名につきましては進藤議員でございます。進藤議員につきましては、就学援助の助成制度、就学援助金の早期支給ということで、昨年12月の定例会におきましても質問をいただいたんですが、そののち、いわゆる入学、小学1年生の入学、中学1年生の入学については、それぞれランドセルだとかジャージだとかいろいろ準備金がかかるので早期に支給していただきたいという再度質問がございました。昨年12月の質問を受けて、今まで7月に支給していたものをひと月早く、本年は6月に支給しておりますし、また今年度の支給までの間、社会福祉協議会の貸付制度もございますので、そういうのも社会福祉協議会と打合せをしながら、その貸付、そういう早期に資金の必要な方はご活用くださいと、小中学校の入学説明会の際に、社会福祉協議会の事務局で作っていただいた融資のリーフレットなども配付して周知したんですけれど、結果的には申込みがなかったというようなことも踏まえて、当面現状のままで進めていきたいと思っております。ただ近隣、道内においても早期支給している所もございまして、どのような方法が本町にとっていいのかちょっと時間をかけて今後も検討していきたいという答弁をさせていただいております。以上、2点でございます。それともう1点でございます。先ほど冒頭教育委員さんの熊澤委員のご退任、そして松倉委員の就任ということで説明をさせていただきましたが、10月1日付で、現職であります熊澤職務代理さんの後任の教育長職務代理者を私の方で指名することになります。新しい教育委員4名の中から1名を指名しますのでご理解のほどよろしくお願いたします。私からは以上でございます。事務局、ございませんか。ほかにありませんか。

◎中畑事務局長

はい。

◎久保田教育長

熊澤職務代理、最後にひと言ご挨拶いただければと思います。

◎熊澤委員

冒頭から教育長にお話ありましたとおり、今日が最後の会議ということになりまして、早くから何を言うかと考えては見たんですけれど、中身についてはいっぱいありすぎて、せっかく送別会を用意してくれていますのでそちらの方に回したいと思っております。まずは20年間こうして無事に務めあげてこれたことに対してお礼を申し上げたいと思っております。教育委員の皆さんや職員の皆さんのおかげでここまで来れたものと、本当にありがたく

思っております。この後はまだいろいろとやりたいことがいっぱいあるので、暇になるということはないんですけれども、1つ大きな肩の荷が下りたなという感覚ではおりません。これから新十津川の教育に関しましては新しい人とともに、皆さんが頑張ってくれと思いますけれども、どうか健康に気をつけられて、そして更なる活躍をお願いしたいものだと思っております。先ほどの送別会用意していただきまして誠にありがとうございます。ことば足りませんが、最後の挨拶に代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

◎久保田教育長

ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、平成29年第9回教育委員会定例会を閉会いたします。

(閉会 午前10時12分)

会議の顛末を記載し、その旨相違なきことを証するためにここに署名する。

会議録署名委員 熊 澤 定 男

会議録署名委員 近 藤 陽 介